

放射性物質除染マニュアル
(家庭用)

平成24年3月

益子町

1. 目的

この放射性物質除染マニュアル（家庭用）は、町民の皆様が地域または家庭において放射性物質からの影響を避けるため、自主的な除染作業を行う上で参考にさせていただくために策定しました。

2. 除染基準

〈公共施設における町の基準〉

国の基準である「地表から1mの高さで計測した放射線量が1時間当たり0.23マイクロシーベルト以上」を除染の基準値としました。

公共施設につきましては、町が責任をもって除染作業を行います。

〈参考〉「放射線量が1時間当たり0.23マイクロシーベルト」の考え方。

放射線量が1時間当たり0.23マイクロシーベルトの場合における、年間の追加被ばく放射線量は1ミリシーベルトにあたる。

○0.23マイクロシーベルトの内訳

- ・自然界（大地）からの放射線量：0.04マイクロシーベルト
- ・事故による追加被ばく放射線量：0.19マイクロシーベルト

1日のうち屋外に8時間、屋内（遮へい効果(0.4倍)のある木造家屋）に16時間滞在するという生活パターンを仮定

$$1 \text{ 時間あたり } 0.19 \text{ マイクロシーベルト} \times (8 \text{ 時間} + 16 \text{ 時間} \times 0.4) \times 365 \text{ 日}$$

$$= 998.64 \text{ マイクロシーベルト} = 0.99864 \text{ ミリシーベルト}$$

$$\div \underline{\text{年間1ミリシーベルト}}$$

〈民有地について〉

所有者の判断と責任において対応していただきます。

3. 除染の前に

①放射線量を測定します。

- ・町では放射線量測定器を貸出しています。貸出を希望される方は事前に予約をしてください。放射線量測定器と一緒にお渡しする【放射線量測定器の貸出について】を良く読んで測定を行ってください。
- ・敷地内で放射線量の高い場所を把握するため、雨どいの出口付近、側溝内の土砂や落ち葉がたまっている場所など、様々な場所の放射線量を確認してください。

②服装を整えます。

- ・肌を露出しないようにしましょう。そのため、防塵マスク、ゴム手袋、ゴム長靴、長袖、長ズボン、帽子などを着用してください。
- ・高圧洗浄機など水を使う場合は、カッパの上下を着用し、目に水が入らないようにゴーグルを着用してください。

③用具を準備します。

〈掃除用具〉 ほうき、ちりとり、スコップ、ゴミ袋など

〈水洗浄用具〉 ブラシ、バケツ、洗剤、高圧洗浄機など

〈処理用具〉 土のう袋、遮水シート、ゴミ袋（厚手のもの）など

④処理場所を確保します。

- ・敷地内において人があまり近づかないような所を処理場所とします。
- ・地中に埋める場合には穴を掘って準備します。
- ・掘った土はあとで覆土に使用しますのでシートの上などに集めておきます。
- ・山積みにする場合は、あらかじめ遮水シート等を敷いておいてください。

4. 除染の手順

(1) 屋外の除染

除染作業を行うにあたりましては、作業を行う方の安全を確保してください。

○留意すること

- ・作業を効率化し、長時間の作業にならないように努めてください。
- ・作業場所での飲食や喫煙は控えてください。
- ・屋内に入る際には着替えるなど、ちりやほこりなどを持ち込まないようにしてください。

①土壌の除去

雨どいの出口付近や土ぼこりのたまり場は放射線量が高い場合があるため、土壌そのものを取り除きます。

②草刈り、庭木のせん定、落ち葉の除去

庭木の下などで草刈りを行う場合は、草を根から取るなど地中から 1~2cm を浅く剥ぎ取るようにすると効果的です。根に付いた土は、土壌などと同じ扱いをしてください。常緑の針葉樹や竹は必要に応じてせん定を行い、落ち葉なども取り除きます。

③処理の方法

〈地中に埋める方法〉

- ・事前に掘った穴に水が地下に浸透しないように遮水シート等を敷き、除去した土壌等を埋めさらに覆土を行います。
- ・雨水が浸入しないように遮水シート等で覆うなどしてください。

[参考] 覆土厚さと放射線遮へい効果

覆土の厚さ	放射線遮へい効果
10cm	75%減
15cm	85%減
20cm	92%減

〈山積みにする方法〉

- ・除去した土壌等、せん定した枝葉等を山積みにする場合には、その場所にあらかじめ遮水シート等を敷いて水が地下に浸透しないように努めてください。
- ・除去した土壌等は耐久性や耐水性のある袋等に入れてください。
- ・雨水侵入防止のため遮水シート等で覆ってください。

(2) 家屋の除染

- ・窓ガラスは十分に水で洗い流し、ガラスワイパーなどを用いて水切りをしてください。窓を拭く場合は上から下へ同じ方向で拭いてください。
- ・屋根や外壁は、高圧洗浄機等を用いて汚れを落としてください。
- ・高所での作業は安全に十分注意してください。

(3) 屋内の除染

- ・放射性物質のついた土やほこりを家の中に持ち込まないように、家に入る際には服についたほこり、靴についた土を落としましょう。
- ・壁や家具などの表面を掃除機で吸い取ります。再浮遊を防ぐため、掃除機は集塵性の高いフィルター付属のものが望ましいです。
- ・床や壁は水で濡らした雑巾などで拭き取り、カーペットなどの掃除は粘着テープ式のローラーが効果的です。

5. 除染の後は

○放射線量の再測定

作業前に測定した場所で再測定をし、除染効果を確認してください。

放射線量測定器の貸出時に一緒にお渡しする【放射線量測定器の貸出について】を良く読んで再測定を行ってください。

○後片付け

- ・手洗い、うがい、シャワーを浴びるなど、汚れを落としてください。
- ・使用したマスク・手袋など使い捨てのものは廃棄し、可燃ごみとして通常どおり出してください。
- ・その他の用具類は、使用后良く洗います。作業で使用した衣類につきましては、洗濯して再使用してください。

このマニュアルは、「市町村による除染実施ガイドライン」（平成 23 年 8 月 26 日原子力災害対策本部作成）や先進地のマニュアルなどを参考に策定しています。

このマニュアルは、状況の変化に応じて適宜見直しを行います。

【問い合わせ先】

益子町環境課生活環境係

TEL : 72-8101